

農作物技術情報 第1号の要約

令和8年3月19日発行
岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部

技 術 の 要 約	
水稲	<p>【育苗】</p> <ul style="list-style-type: none">・適期に移植できるよう、は種計画を立てる。・出芽ぞろいを良くするため、適正な浸種水温及び期間を守る。・育苗期間中の温度・かん水管理には最大限の注意を払う。 <p>【ほ場準備】</p> <ul style="list-style-type: none">・畦畔のかさ上げや用排水路等の点検、補修を早めに行う。
畑作物	<p>【小麦】</p> <ul style="list-style-type: none">・ほ場内の明きよや排水溝を補修し、ほ場排水に努める。・追肥は生育量を確認し、追肥量を判断し、倒伏を助長する過剰な追肥は避ける。・雑草の発生に合わせて早めに除草剤を散布する。・麦踏みは茎立ち前までに実施する。
野菜	<p>【ほ場準備】</p> <ul style="list-style-type: none">・排水対策を講じるとともに、計画的にほ場準備を進め、は種・定植が遅れないように努める。 <p>【果菜類】</p> <ul style="list-style-type: none">・育苗期の温度管理や苗のずらしなどの作業を徹底し、苗を徒長させない。苗からの病害虫持込みを防止するため、育苗ハウスの雑草や病害虫防除を行うとともに、育苗後半の低温・高温障害による品質低下に注意する。・ハウスビニールやマルチを早めに張り、地温を確保し活着を促す。 <p>【葉茎菜類】</p> <ul style="list-style-type: none">・キャベツやレタスなどは、育苗の温度管理を徹底して適期に定植を行い、定植後はべたがけ資材により保温し、生育の促進と霜害などを防止する。・雨よけほうれんそうは、ほ場の水分不足に注意し、ハウレンソウケナガコナダニの防除対策を徹底する。
花き	<p>【りんどう】</p> <ul style="list-style-type: none">・越冬害虫の発生源を減らすため、前年の秋にできなかつた残茎は、早期に除去する。・浮き上がった株は埋め戻し、土を寄せて株を保護する。・春の基肥は、萌芽期を目安に遅れないよう施用する。 <p>【小ぎく】</p> <ul style="list-style-type: none">・想定した定植日から逆算して、計画的な親株・育苗管理を行う。・親株から育苗期の病害虫防除を徹底する。
果樹	<p>【りんご】</p> <ul style="list-style-type: none">・干ばつの影響が長引いた園地や、着果負担が多く衰弱した樹体では、花芽率が平年より低い、あるいは弱小花芽率が高い傾向がみられる。花芽の着生状況や開花した花の量・質を考慮し結実確保に努める。 <p>【果樹共通】</p> <ul style="list-style-type: none">・3～4月の気温が高く推移すると、発芽やその後の生育は早まり、凍霜害など気象災害発生のリスクも高まるので、今後の気象情報に留意し、管理作業や災害対策が遅れないよう努める。
畜産	<p>【牧草】</p> <ul style="list-style-type: none">・1番草の収量を確保するため、牧草が萌芽期をむかえたら速やかに早春施肥を行う。 <p>【家畜】</p> <ul style="list-style-type: none">・気温の寒暖差や飼料の変更、親子分離などのストレスを軽減し、子牛の皮膚病の発症防止に努める。

詳細については「いわてアグリベンチャーネット」をご覧ください。<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>
(「いわてアグリ」と検索すると上位に表示されます)

- 山火事防止運動実施中！：強風時や乾燥時には火入れや野焼きなどの火の使用は避けてください。
- 農薬適正使用：使用前に必ずラベルを確認し、使用基準の厳守と飛散防止を心がけてください。
- 農作業安全：事故のないよう、農作業安全に十分留意してください。

次号は令和8年4月23日(木)発行の予定です